

### 亀倉雄策ポスター展



**会期** 2月5日(金)  
～3月22日(祝)

**時間** 午前9時  
～午後4時30分

**会場** 産業史料館

**作品解説会** 2月7日(日)  
※午後2時から企画展示室にて行います

**休館日** 祝日の翌日と年末年始  
※会期中の休館日は、2月8日(月)・12日(金)・15日(月)・22日(月)・3月1日(月)・8日(月)・15日(月)

★土曜・日曜・祝日は市内の小中学生と小学生の付添保護者1人まで無料です。

### ○略年譜

1915年	燕市(旧吉田町)に生まれる
1924年	このころ一家で東京へ移る
1938年	日本工房に入社
1960年	日本デザインセンター設立に参画
1962年	亀倉デザイン研究室を創設
1961-64年	東京オリンピックの公式ポスターを制作
1980年	紫綬褒章受賞
1991年	文化功労者に選ばれる
1997年	死去(享年82歳)
2000年	旧吉田町の名誉町民に

### ○手掛けたポスターとロゴマーク



写真：早崎治  
写真ディレクター：村越襄

#### 東京オリンピック 1962年

1964年、東洋で初めて開催され、日本中を熱狂の渦に巻き込んだ東京オリンピック。過去のオリンピックポスターには写真が使われていなかったため、思い切って写真を使用することにしたそうです。



#### 伝統マーク 1975年

田中一光さん、永井一正さんという、近代日本グラフィックデザインに大きな影響を与えた2人とのコンペの末に選ばれたのがこの作品。伝統の「伝」の字を明確に形象化し、日の丸が配置されました。



#### Gマーク 1959年

グッドデザイン賞は当時の通商産業省が創立した「グッドデザイン商品選定制度」を母体とする日本で唯一の総合的デザインアワード。「G」という文字のインパクトが強烈で、一度見たら忘れられません。

東京オリンピックのポスターや「NITTO」「ニコン」「明治製菓」などのロゴマークをデザインした亀倉雄策さんは燕市の生まれ。生家は近隣にも名を知られた有名な大地主でした。今月のこだわりでは、そのルーツを探ります。



Photo : Kazumi Kurigami

### ● 今月のこだわり(7ページまで)

# 世界的な グラフィック デザイナー 亀倉雄策さんは 燕市の生まれです。

燕市の名誉市民の1人でもあります。

## 亀

倉雄策さんは、世界にその名を知られる有名なグラフィックデザイナー。

わたしたちは毎日の生活の中で、知らないうちに雄策さんの作品に出会っています。例えば上で紹介した「Gマーク」や「伝統マーク」。買い物に出掛けたときや旅先などで、一度は目にすることがあるという人は多いのではないのでしょうか。

雄策さんは大正4(1915)年4月6日生まれ。生家は現在の燕市吉田中町にありました。町の人たちから「亀倉様」と呼ばれる、近隣でも有名な大地主の四男として生まれたのです。

私の家は大きかったし、屋敷の面積も広がったね。白壁の土蔵が二つ、敷地の裏に米倉が二つ並んでいた。土蔵と米倉の間に小川が流れていて、それを境にガキ大将の私は、近所の子を集めてチャンバラごっこをやっていたんだね。(亀倉雄策『亀倉雄策の直言飛行』、174ページ、六耀社、1991年)

雄策さんの父である亀太郎さんは亀倉家の6代目。明治の末に煙草専売局の元売捌業を引き受け、さら